

# 建築研究所 ニュース



令和5年2月22日

2022年度グローバル地震観測研修が3月3日終了し、これにより、建築研究所が実施してきた国際地震工学研修事業の研修修了生は2,000名を超えることとなります。

1. グローバル地震観測研修は、グローバル地震観測分野における最新の技術や知識を習得し、核実験探知観測網において重要な役割を果たせる人材を養成することを目的として、約2か月かけて実施してきております。今期も、外務省から依頼を受け、(独)国際協力機構と連携して進めて参りました。
2. 今回の研修生は7カ国8名の研究者や担当官ですが、これで国際地震工学研修事業の研修修了生が延べ105カ国から2,004名となり、2,000名を超えました。なお、2,004名にはトルコから85名の研修修了生も含まれ、世界に人材輩出を行いました。
3. なお、令和5年1月10日に開始した今回の研修では、広島を訪問し、原爆ドーム、平和記念資料館にて被爆体験講話を受講する等、被爆の実相に触れる機会を得ました。また、研修生が核実験探知に必要な地震観測技術や核実験を識別するデータ解析技術を習得することにより、CTBTの検証体制及び国際監視制度において重要な役割を果たせる人材を育成することに貢献しました。

閉講式には、この研修に参加した7カ国8名の研修生が出席します。最後まで研修をやり遂げた研修生各人の熱意と努力に、大いに敬意を表します。

<参考：第27回グローバル地震観測研修閉講式の日程等>

日時：令和5年3月3日(金) 11:30～

場所：JICA筑波センター(つくば市高野台3-6 代表番号 029-838-1111)

研修修了生の出身国と人数(単位：人)：

アルジェリア(2)、ナミビア(1)、ネパール(1)、ペルー(1)、フィリピン(1)、サモア(1)、バヌアツ(1)

※ 現地取材はお問い合わせ下さい。

<その他研修に関する情報については、建築研究所エピストラVol.84 1)、及び、国際地震工学センターホームページ 2)、CTBT及びCTBTO 3)を参照のこと>

1) <https://www.kenken.go.jp/japanese/contents/publications/epistura/pdf/84s.pdf>

2) <https://iisee.kenken.go.jp/jp/>

3) <https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/kaku/ctbt/gaiyo.html>

## (問合せ先)

国立研究開発法人建築研究所

所属等 国際地震工学センター管理室長

氏名 山田高広

電話 029-879-0678(直通)

E-mail [yamada@kenken.go.jp](mailto:yamada@kenken.go.jp)



開講式  
(2023/1/10)



地震観測  
(2023/1/12)



インセプション発表会  
(2023/1/20)



広島原爆ドーム  
(2023/2/3)



野島断層記念館  
(2023/2/3)



筑波山実習  
(2023/2/9)